

平成30年2月9日
筑後川河川事務所

赤谷川左支川（土師川^{どしがわ}）、本村川において、
土砂や流木を捕捉するための「強靱ワイヤーネット（仮設）」が完成

朝倉市杷木町本村地区の赤谷川左支川（土師川）、本村川において、土石流による土砂や流木を捕捉するための「強靱ワイヤーネット（仮設）3箇所」が、平成30年2月9日に完成しました。

これにより、赤谷川への土砂や流木の流出を抑制するとともに、本村地区の人家や県道52号の保全を図ります。

引き続き出水期に備えるための応急対策を実施し、安全性を高めて参ります。



赤谷川左支川（土師川）



被災直後



強靱ワイヤーネット（幅 15m）



本村川



強靱ワイヤーネット（幅 30m）

工事場所：別紙－１のとおり

工事概要

高さ 5.5m、幅 15m の強靱ワイヤーネット（2箇所）赤谷川左支川（土師川）

高さ 5.5m、幅 30m の強靱ワイヤーネット（1箇所）本村川

《問い合わせ先》

九州地方整備局 筑後川河川事務所

九州北部豪雨災害対策推進室

室長 満崎 晴也

副室長 寺下 進一

代表0942-33-9131 FAX0942-35-0186

※現地測量等の結果によっては、施設の位置等が変更になる場合があります。



【災害発生からこれまでに実施してきた内容】

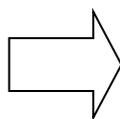
2. 砂防工事

(1) 強靱ワイヤーネットの整備【実施中】

河川への土砂や流木の流出を抑制するとともに、人家や県道の保全を図ります。



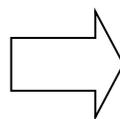
災害発生時（乙石川）



施工状況（H30. 2. 1 撮影）



災害発生時（小河内川）



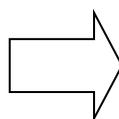
施工状況（H30. 2. 1 撮影）

(2) 土砂止め工（遊砂地工）の整備【実施中】

応急対策工として土砂止め工（遊砂地工）を整備し、赤谷川下流への土砂流出を抑制することにより、乙石川、赤谷川下流域の①人家の保全、②河道の安定化を図ります。



災害発生時



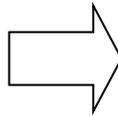
施工状況（H30. 1. 26 撮影）

(3) 新規砂防堰堤工事のための準備【完成】

災害直後は、道路も寸断され孤立集落もあったが、工事用道路を整備し、通行が可能となったため、孤立解消にもつながりました。(写真は、乙石川乙石地区)



災害発生時



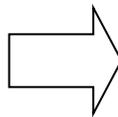
工事用道路整備後 (H29. 12. 26 撮影)

(4) 砂防堰堤の機能回復【完成】

家屋の土砂災害軽減を目的に、既設砂防堰堤に満砂した土砂を撤去して、元の機能を確保し下流の人家等を保全します。(写真は、小河内川の砂防堰堤)



災害発生時



除石完了後 (H29. 12. 21 撮影)